

大阪電気通信大学 エレクトロニクス基礎研究所 ワークショップ
「新規蛍光体材料開発の現状と課題」

現在、PDP や Hg フリー蛍光灯、白色 LED 用などの新しい蛍光体材料の研究開発が活発であるが、さらなる展開のためには克服すべき課題も多い。

今回企画したワークショップでは、応用物理学会、蛍光体同学会を中心に活発に情報発信をしている研究者と日本物理学会の光物性分野で活躍している研究者がお互いの情報を交換し合い、新規蛍光体材料開発の今後の展開についての認識を共有できればと考えている。

主催：大阪電気通信大学エレクトロニクス基礎研究所

協賛：日本分光学会関西支部

日時：2006年9月2日(土) 9:40～15:50

場所：大阪電気通信大学 図書館小ホール

9:40～9:50 主催者挨拶

大阪電気通信大学 エレクトロニクス基礎研究所 所長

9:50～10:30 蛍光体の総論＝何が求められているか／何が課題か

東京工科大学 バイオニクス学部 山元 明

休憩

10:40～11:20 真空紫外用蛍光体の現状と課題

徳島文理大学 工学部 國本 崇

11:20～12:00 Tl⁺型不純物中心の発光特性

大阪府立大学、大阪電気通信大学 河相 武利、大野 宣人

昼食

13:30～14:10 フッ化物蛍光体における真空紫外光増感

大阪大学、大阪電気通信大学 平井 豪、大野 宣人

14:10～14:50 無機EL用蛍光体の研究開発動向

鳥取大学 工学部 大観 光徳

休憩

15:00～15:40 ナノ粒子形成によるシンチレーション機能の制御：CsI:Na の発光機構

大阪市立大学 工学部 中山 正昭

15:40～15:50 閉会のことば

問い合わせ先：エレクトロニクス基礎研究所 大野宣人

Tel: 072-824-1131 内線 2260

E-mail: n-ohno@isc.osakac.ac.jp